

エコアクション 21

環境経営レポート

第 60 期

対象期間： 令和 6 年 5 月～令和 7 年 4 月

発行日： 令和 7 年 5 月 31 日

当社 E A21 運用開始日

平成 22 年 6 月 9 日

有限会社 ひばりヶ丘清運

目次

【1】 組織の概要	2
【2】 EA21 認証登録の対象範囲..... エラー! ブックマークが定義されていません。	
【3】 環境経営方針.....	5
【4】 環境経営目標.....	6
【5】 環境経営計画.....	7
【6】 環境経営目標の実績.....	8
【7】 環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容	11
【8】 環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反等の有無	12
【9】 代表者による全体評価と見直しの結果	12

【1】組織の概要

- 事業所名 有限会社ひばりヶ丘清運
設立年月日 昭和40年11月6日
資本金 500万円

- 代表者名 下田一夫

- 所在地 東京都西東京市谷戸町3丁目5番44号
TEL 042-421-1453

- 環境管理責任者
下田 実

- 環境管理担当者
下田 実

- 事業内容 一般廃棄物、産業廃棄物収集運搬業

- 事業許可番号
 - ① 東京都産業廃棄物収集運搬許可
第13-00-059244号
期限：令和6年3月12日～令和11年3月11日
廃棄物の種類：廃プラスチック類、紙、木、金属くず、ガラス
コンクリート、陶磁器

 - ② 西東京市廃棄物の処理及び再利用に関する許可
廃第4-4号
期限：令和6年4月1日～令和8年3月31日
廃棄物の種類：事業系一般廃棄物、特定家庭用機器廃棄物

 - ③ 立川市廃棄物及び再利用促進条例における許可
期限：令和7年4月1日～令和8年3月31日
廃棄物の種類：特定家庭用機器再商品化法第2条5項に規定する
特定家庭用機器

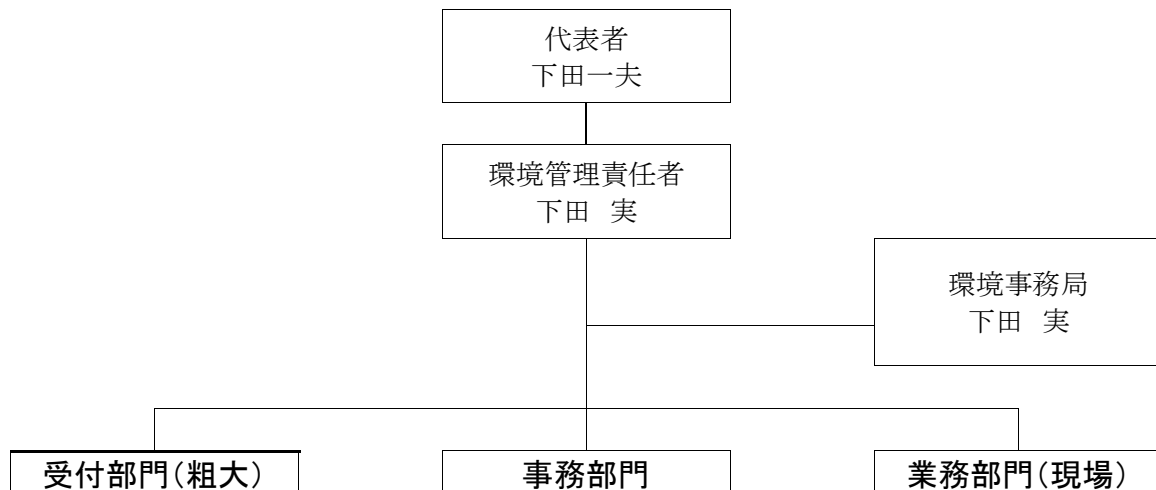
● 廃棄物処理料 見積書による

活動規模	単位	第 58 期	第 59 期	第 60 期
売上高	百万円	181	181	181
総運搬量	t (トン)	6,514	6,452	6,498
一般廃棄物	t (トン)	6,488	6,429	6,472
産業廃棄物 廃プラ	t (トン)	17	15	24
容プラ	t (トン)	8.2	7.1	1.5
ガラ・陶器	t (トン)	0.7	0.9	0.9
従業員数	名	22	23	23
延べ床面積	m ²	214	214	214

保有(使用)車両 (令和 7 年 4 月現在)

	回転式	15 台
	プレス式	3 台
ダンプ車		3 台
	アームロール車	1 台
平ボディ車		2 台
軽トラック		4 台
計		28 台

有限会社ひばりヶ丘清運 エコアクション 21 組織図



役割

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術を用意 ・ 環境経営方針の策定、見直し、及び全従業員への周知 ・ 代表者による全体の評価と見直しを実施 ・ 環境経営レポート(計画、実施)の承認 ・ 経営における課題とチャンスを整理し、明確にする ・ 効果的で必要十分な実施体制を構築する ・ 各自の役割、責任及び権限を定め、全員に周知する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境負荷と環境への取り組み状況の把握及び評価 ・ 環境経営目標及び環境経営計画の策定 ・ 取り組み状況の確認及び問題の是正
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営システムの構築、実施、管理 ・ 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・ 環境経営レポート(目標、計画、実績)の作成、確認 ・ 事務管理
各部門	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部門における環境経営システムの実施(周知) ・ 環境経営計画の実施、及び達成状況の報告 ・ データ管理 ・ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置、及び実施、報告、提案、問題点の改善 ・ 環境活動を理解し目標に対して努力する ・ 環境関係の法の遵守に努める ・ 廃棄物の管理 ・ 再生資源率の維持、増加に努める

● 全組織・全活動

本社 東京都西東京市谷戸町3丁目5番44号

○当社E A21 運用開始日 (平成21年8月26日)

○認証・登録年月日 (平成22年6月9日) 番号: 5010号

【3】環境経営方針

私たち有限会社ひばりヶ丘清運は、資源の少ない我が国の循環型社会の構築に、今まで培ってきた廃棄物回収業の3R【リユース(繰り返し使う)・リサイクル(再資源化)・リデュース(減らす)】のノウハウを持って貢献し、日々変化する地球環境に対する当社の役割の重要性を認識し、全員参加で、環境保全活動を行って参ります。

基本方針

当社は、事業活動が地球環境に及ぼす影響を考え、二酸化炭素排出量、排水量、廃棄物の削減のため、特に下記の項目を実行します。

1. 環境関連法規の遵守
2. 二酸化炭素排出量の削減（電力、自動車燃料等の削減）
3. 廃棄物の排出抑制と適正処理
4. 省資源（水、紙使用量の削減）
5. 環境に配慮した製品の購入
6. 収集運搬作業とリサイクルの推進（収集運搬作業の合理化）

※ 上記の環境方針を全従業員に周知し、教育、活用推進いたします。

平成 21 年 8 月 25 日 (制定)

令和 6 年 5 月 1 日 (改定)

会社名 有限会社 ひばりヶ丘清運

代表者 下田一夫

【4】環境経営目標

- ・従来の環境経営目標は、第 48 期の実績を基準に、第 51 期までの 3 か年の計画を定めていました。
- ・第 52 期から第 51 期の実績を基準に第 54 期までの計画を設定し実施します。
- ・削減目標は、第 51 期の実績を毎年 1 %削減することとします。
- ・一般廃棄物は、可燃・不燃の廃棄物の合計を、1 %ずつ削減することとしますが、プラスチックは、再生資源として活用するため、再生率を上げることとし、目標値は定めていません。

		単位	基準 第 51 期 H27.5～H28.4	第 58 期 目標 R4.5～R5.4	第 59 期 目標 R5.5～R6.4	第 60 期 目標 R6.5～R7.4	第 61 期 目標 R7.5～R8.4
二酸化炭素	軽油	L	29,435	27,428	27,151	26,874	26,597
	ガソリン	L	4,458	4,117	4,076	4,035	3,994
	電力	kWh	17,480	16,606	16,431	16,256	16,081
	二酸化炭素 排出量	kg-CO2	94,071	89,367	88,427	87,486	86,545
	削減目標率	%		5	6	7	8
総排水量	水道使用量	m ³	488	464	459	454	449
	削減目標率	%		5	6	7	8
一般廃棄物	可燃	kg	145	138	136	135	134
	不燃	kg	128	122	120	119	118
	削減目標率	%		5	6	7	8
	プラスチック	kg	90	86	85	84	83

※二酸化炭素排出係数:0.408 kg-CO2/kWh (2023 年)

※小数点以下は四捨五入しています。

【5】環境経営計画

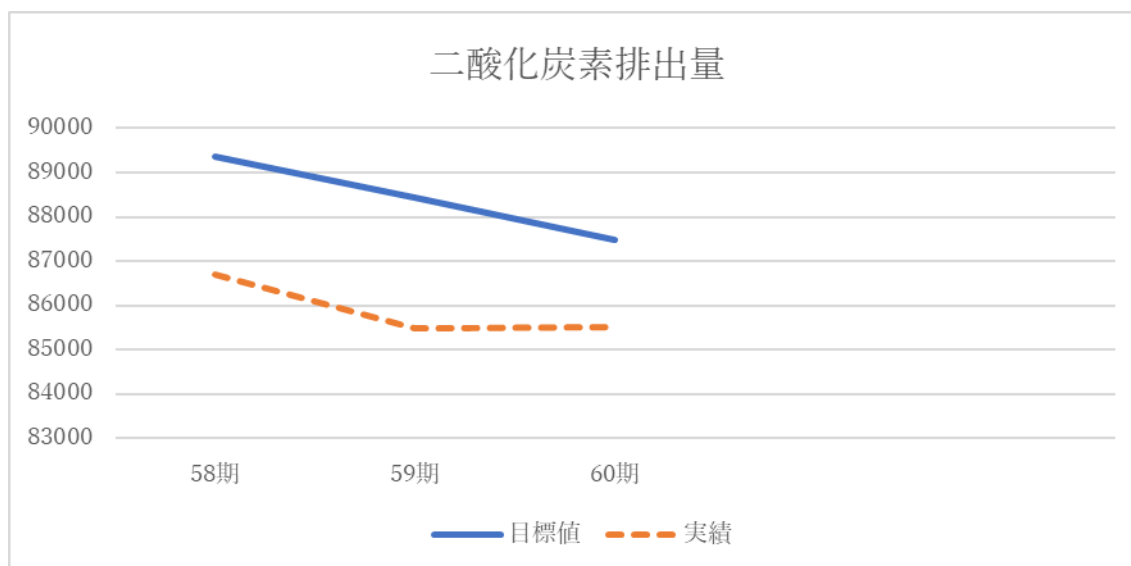
- ① 電力使用量の削減
 - ・ 不要照明の消灯
- ② 自動車燃料の削減
 - ・ アイドリングストップ意識の向上
- ③ 一般廃棄物の削減
 - ・ 廃棄物分別の徹底
- ④ 水道水の削減
 - ・ 洗車時の節水

【6】環境経営目標の実績



	単位	基準 第51期 H27.5~H28.4	第60期 R6.5~R7.4		評価
			目標	実績	
軽油	L	29,435	26,874	27,051	×
ガソリン	L	4,458	4,035	3,841	○
電力	kWh	17,480	16,256	14,019	○
二酸化炭素 排出量	kg-CO2	94,071	87,486	85,512	○

※排出係数:0.408 kg-CO2/kWh



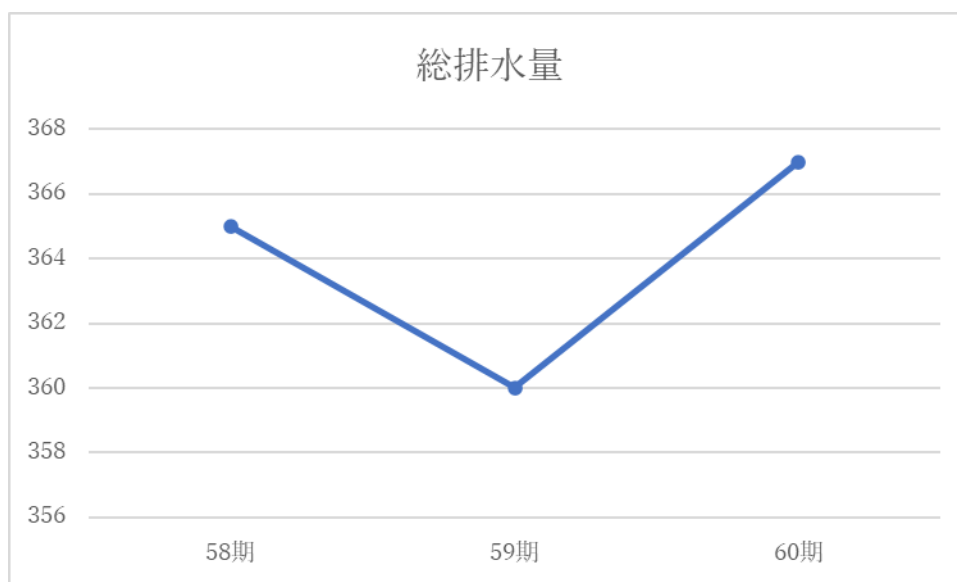
評価

今期は夏の暑さ対策として1台増車をすることになり7月から9月の3カ月間は軽油の消費量は一時的に増加してしまった。だが、新型車両を導入したことで概ねに軽油の消費は抑えることが出来たと思われる。

排水量の削減目標と実績



	単位	基準 第 51 期 H27.5～H28.4	第 60 期 R5.5～R6.4		評価
			目標	実績	
水道使用量	m ³	488	454	367	○



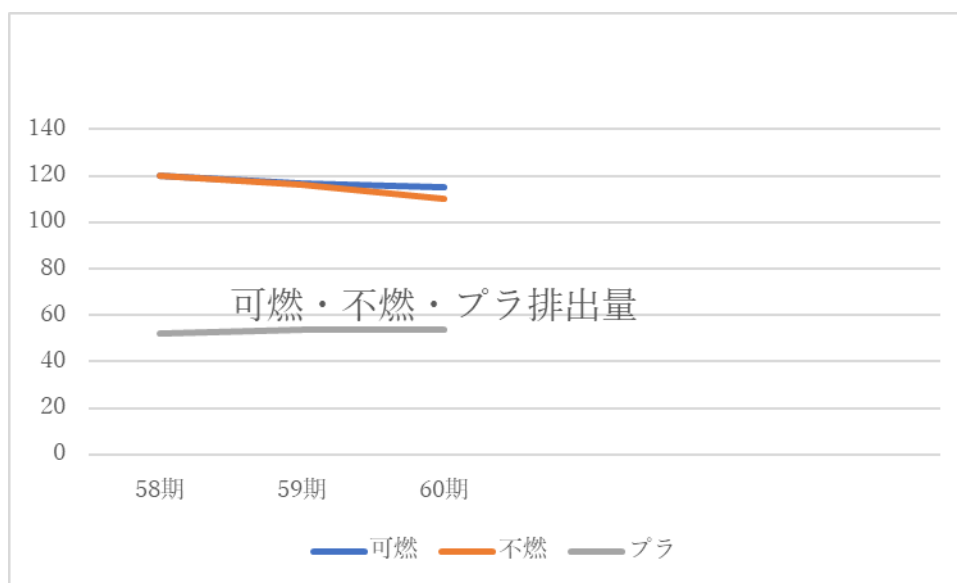
評価

今期は夏の臨時増車を行い洗車する台数が増えてしまったが、水道ではなく井戸水を積極的にも使用していたため想像より消費量は抑えることが出来た。社員の節水意識は保たれていると思われる。

廃棄物の削減目標と実績



	単位	基準 第 51 期 H27.5～H28.4	第 60 期 R6.5～R7.4		評価
			目標	実績	
可燃	kg	145	135	115	○
不燃	kg	128	119	110	○
プラ	kg	90	84	54	○



評価

弁当の持ち込みと外食しているためか、今期もごみの処分量は抑えること出来たと思われる。来期も意識してもらうように、朝礼などを実施し周知していく。

コピー用紙の削減目標と実績

	単位	基準 第51期 H27.5～H28.4	第60期 R6.5～R7.4		評価
			目標	実績	
コピー用紙	kg	46.62	43.36	47.00	○
削減目標率	%		0.07		

評価

前期と同様に新人に対する周知とベテランに再認識してもらうために、FAX用紙の配布を今期も実施している。

そのため、コピー用紙の消費量は増加してしまっただが、今後も周知のために継続していく。

【7】環境経営計画の取組結果と評価、次年度の取組内容

前期で課題としていた水道等の取り組みは十分に達成が出来ている。新人達も十分意識していることもあり、今後も目標を持って続けていく。

来期の取り組みとしては環境に配慮した製品の購入と社員の健康を守れる活動を検討していく。

【8】環境関連法規等の遵守状況の確認及び違反等の有無

当社に適用となる環境関連法規を以下にとりまとめ、社内において関連法規の違反のないよう日々遵守状況をチェックし業務に取り組んでいます。以下項目について関係当局より、違反の指摘、及び訴訟はありません。

主な適用法規	該当する業務	厳守状況のチェック
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の収集及び運搬	違反の指摘はありません
	自社産業廃棄物の排出	マニフェスト伝票交付状況報告の集計中
道路交通法	廃棄物の収集及び運搬	違反の指摘はありません
家電リサイクル法	収集した廃棄物の処理	同上
自動車リサイクル法	自社使用の自動車の処分	同上
小型家電リサイクル法	収集した廃棄物の処理	同上
東京都廃棄物条例	廃棄物の収集及び運搬	同上
東京都環境確保条例	規制基準の遵守等	同上
西東京市・立川市の条例	一般廃棄物の処理・運搬	同上

【9】代表者による全体評価と見直しの結果

総合評価

今期は夏の臨時等の軽油及び水道が著しく増加してしまったため、数値増加傾向にある。数値はそこまで増えていないため社員の燃料削減での意識は高いと思われるため、今後も継続していくこと

今後の活動に対する見直し

目標値の現状は達成に成功している。今後は環境に配慮をした製品なども積極的にしていくことを検討していく。

- ・ 環境経営方針
 - ・ 環境経営目標及び環境経営計画
 - ・ 実施体制
- ※変更なし